

議会報告会実施報告書（要旨）

開催日時	平成27年11月10日（火） 18時00分～20時00分		
開催場所	ゆとろ	出席者	19名
出席議員	島田副議長・石川議員・山田議員・佐藤議員		

◎山田議員開会

◎島田副議長挨拶

○（島田副議長） 第6回の議会報告会に集まりいただきありがとうございます。今日の北海道新聞にも載っていましたが、石狩市と当別町でそれぞれ今日から議会報告会を開催するという事で、タイミングよく案内させてもらったところである。過去5回の議会報告会の反省や参加者からの意見などから検討して、少数議員で担当を決めて、一般の町民の方にも広く参加していただくよう、膝を交えた意見交換会となるように実施していきたい。今日から当別町では3回開催しますが、本来であれば、本日議長からの挨拶でスタートすべきであるが、東京の出張があり不在のため、副議長の私からの挨拶でスタートとなった。この後、12日はゆとろで、13日は西当別コミセンでと、3班にわけて議員が5名ずつ担当を決めて実施する事になり、今日は秋場議員が入院中のため、私と山田議員、石川議員、佐藤議員の4名で議会報告と皆さんと意見交換をさせていただきたい。過去は議会で用意したテーマや町内会からいただいたテーマで意見交換をしてきたが、今回は自由なテーマとして、町政・地域の抱えている問題について、自由なトークや意見交換を行っていきたいと思っている。それと事前の議員15名による議員協議会での申し合わせ事項として、3会場それぞれで議員が役割分担を持つ事と、原則として議会で決まった事以外で議員個人の意見は言わない事と決めているが、議員個人の意見を求められた場合は、司会者の同意を得て発言する事となっている。議会報告会が終わりましたら、それぞれ3班の代表者が集まって、住民からのそれぞれの会場での意見や要望について集約して、議会に持ち帰って、どういう形で処理するのか、または行政側へ伝えていくのか、それをどのように住民に返していくのかななどを十分検討していきたいと思っている。今日の担当議員以外の議員には、傍聴を差し控えていただく事を申し合わせているので、今日は4名の議員しか来ていない。そういった中で、地域の困った課題や要望等について、短い時間ではあるが、忌憚のない意見を聞かせていただきたい。

◎各定例会・議会改革の取り組みについて報告

山田議員、石川議員、佐藤議員

○（町民） 決算審査特別委員会に議会の監査委員は入っていないのか。決算審査特別委員会報告書の中身は議員全員で検討して間違いがないとの事なのか。

○（議会） 決算審査特別委員会は、後藤議長と議会選出の監査委員の高谷議員を除く

13名の議員で委員会を構成している。決算審査特別委員会では部局からの決算資料に基づき審査をして、その審査の中身については議会だよりに掲載しており、間違いはないとの事で、委員全員で可決しているものである。

◎町政・地域の抱える課題について

○（町民） 空き家の問題とマイナンバーについてお聞きしたい。空き家の問題ではこれからどんどんと増える問題であり、その解決策をどのように考えているのか。それとマイナンバーの問題についてだが、議会でも共産党の議員が取り上げていたが、高齢者等にとっても大変危険なものであると思う。8月26日の町の説明会でも、もっと詳しい説明が必要であると町の担当者にも話している。

○（議会） 町では空き家の適正管理に対する条例については、今年3月に条例化している。現在、どれ位の空き家があるのかを調べており、町内に123件あり、その内、解決済みが37件で、33件が持ち主に連絡中であるが、残り53件の所有者が分からないなどは、町内会と連絡を取りながら、引き続き調査中である。空き家の処理に対しての行政代執行には、現在は至っていない。行政代執行に係る町の負担が無いように他市町村の空き家対策についても議会として勉強しているが明確な答えは出ていない。空き家を壊すだけでも、約100万円位掛るので、町としては空き家バンクの制度や町内の不動産については、道の専門家の協力を得ながら対策を練っていく事としている。

○（議会） マイナンバーについては、言われた通り個人情報の漏洩について危惧されていると思うが、これについても9月議会での一般質問での町長答弁では、情報漏洩が無い様に国やそういう機関に対して、強く要請しながら安全対策をしっかりと行って行くという町長の答弁であった。国民の同意を得ながら活用するとの事になると思うし、運用についてはまだ先の平成29年の7月になると思う。当面は防災とか災害時において使われるとの事であり、国においては、危惧されている事を一つずつ解消しながら進めていくものと思う。議会としてマイナンバーに関わる補正予算審議において、それに対する反対の議員は居たが、議会としてこれを反対するという事にはなっていない状況である。

○（町民） その答弁は納得出来ない。既に国は事業を実施している訳であり、2年後に運用するのは厚生労働省だけで、来年の1月から税務署はこれによって税金申告を行う事としている。8月26日の説明会でも言ったが、総理府のDVDと同時に警察庁のDVDも見したが、警察庁が法律を改正し、罰則をどのように変えたのか、全く国民には知らせないで法律を変えている事など、正確にしっかりと説明してほしい。

○（議会） 今回の議会でも2名の議員からマイナンバーについて慎重な運用を願うとの質問・要望が出された所である。個人番号の申請については任意の形であり、マイナンバーについては、国の制度であり、議会として反対との事にはなっていないが、制度の説明が不十分な点がある事については、説明会を何回か行う等については、町部局には要望として伝えていきたい。

○（町民） 議会として反対すれとは言っていない。きちんと国や道から説明を受けて、その事を正確に町民に知らせてほしいとの事である。

○（議会） 議会としても、住民に正しく情報を伝えてほしいとの事は議員としては言っている。皆さんが言われているように、我々としても十分に理解出来ない部分はまだまだあり、平成28年の1月から、年金や医療保険やら雇用保険などに運用すると言っても、まだ実際に十分な説明を受けていないのが事実であり、国などに対して供用開始する以前に、分かるように説明してほしいとそういう機関にこれからも言っていきたいと考えている。

○（議会） マイナンバーについては、町だけではなくて、色んな団体を通じても説明会を何度も何度も繰り返し行っていく事は呼びかけていきたい。

○（町民） 空き家が今後増える見込みの予測に関して、今後町としてどういう情報収集や対応策を考えているのだろうか。

○（議会） 増えるとの予想は、人口減少や町外転出者が続く中では、おそらく空き家は増えていくとの予測である。町の対応としては、各町内会長と連絡を密にして空き家の巡回等をしながら行っていく考えである。町として出来る事は、空き家バンクの制度を設ける事や古い家の活用方法について不動産屋さんと連絡を取りながら行う事などがあると思う。一番問題となっている事は専門知識を持っている人がいない事で、空き家になる問題に対して、立ち入るにしても弁護士や建築士などの専門知識を持った職員を道に対して協力をお願いする必要があると思う。現在の状況としては空き家になった所有者の追跡調査をしているが、その内53件が空き家の所有者の足取りが付いていない状況であり、これからも巡回等をしながらも追跡調査をしていくとの事である。

○（町民） やはり高齢者の独居や、高齢のご夫婦の家庭は現時点でも分かる訳であるので、町内会の情報と併せればある程度、集積されるのではないだろうか。様々な法律や法制度が絡んでいる訳で、中々行政の方として上から指導する事は難しいとは思いますが、予測を立てて前もって対策を練っていく事も必要だと思う。例えば札幌市等は、資産価値に応じて市の方でお金を出して、例えば療養費使って貰うだとか、最終的には札幌市の財産として、何かあった時には頂くと制度があるので、当別町でも空き家対策の一貫として同様の制度を検討してはどうだろうか。

○（議会） 今年の5月に空き家の特措法が出来て、完全に資産価値が無くて、風によって屋根が飛んで住民に被害が出るような場合に、防犯や防災の観点から取り組んでいる。現在、町としての対策の専門部署を作れないかとの事で検討中であり、しばらくの間は、町内会長さんと連絡を取りながら、なるべく町の持ち出しが無いような対応を、札幌市や道と連絡を取りながらやっている状況であり、今の意見については、部局に届けていきたいと思っている。

○（議会） 大変参考になる点が多々あったと思う。数年前、スウェーデンヒルズの会長さんが亡くなって空き家になってしまい、息子さんより相続などの問題で町に寄付していただいて、無償で使わせていただいている例があった。空き家や空き地を含

めて、全てが有効に活用できる事にもならないが、活用できる所には町も活用させていただく風になると思う。ただ予測をすると言う事は、非常にプライバシーや個々の家庭の問題や相続の問題やらがあるので、一概に行政側では難しいとは思いますが、他の自治体でも色々先進的に行っている所があれば、議会としても調査して参考にしていきたい。

○（町民） 前々から町の建設課には話していたのだが、町営住宅の集約について検討してはどうかと思う。現在、結構空いている所や古くなった所もあり、前に町長と話した時には鋭意修理して入っていただいているとの話であった。それであれば夕張市の様に、町営住宅をどこか1箇所に集約した方が効率的になると思うので、その辺の見解をお願いしたい。

○（議会） 当別町の町営住宅は非常に老朽化しており、議会としても早く改修するなり、建替計画に沿って早く建替すべきとは日頃から議員個々でも言っている。町営住宅の長寿命化計画を作って建替計画を行うとなっており、今年も老朽化した、ひまわり団地等を解体する事になっている。建替の事業計画では平成32年頃には、10何個の新築の計画を持っているが、先送りでも中々進んでいない状況である。いずれにしても、毎年少しずつでも何個でも良いから少しずつでも建てて行かないと老朽化で一遍に使えなくなるのが事実であるので、皆さんの声として引き続き行政に伝えていきたい。

○（議会） 現在、入居状況の調査をしている筈であるので、町として取り組んでいる問題として、民間のアパートの空室へ入居してもらうだとかは、団地入居者の意向等について調査中で、町としても対策について検討中であると思う。

○（町民） 自分も団地の住民であるが、建築して48年目の団地であり、老朽化が酷く非常に危険であると思う。今後我々はどうなるのかが分からない。

○（議会） 意見として何うが、団地については、修理等について常に決算や予算委員会の中で色々報告や議員として質問しており、そういう要望として部局には伝えていきたい。

○（町民） 当別の人口が1万6千人台に入り、非常に早いスピードで人口が急速に減っており、町の勢いが無くなってきていると感じる。人口増加だとか雇用の創出だとか具体的に人口増に繋がる方策として、木質ペレットのような当別の森林資源を活用した熱供給住宅等を、JRとか国道337号線沿いに建てて通行人に見せる事として検討してはどうかと思う。私自身、札幌から20年前に移ってきたが、大変のどかで非常に環境に良い、子育てに非常に良い土地だと思っている。個人的な意見としてスターライトから駅に歩いていく交差点で、宮本酒店の大きな看板が先日の暴風の時に揺れており、大変に危険だと感じる。札幌の事故もあったので、沢山の子ども達の通学路になっているので、看板等の安全性を確認をされてはと思う。

○（議会） 要望として受け止めているが、当別版のまちひとしごと総合戦略がHPを開くと見れるので、人口減少を食い止めて地方再生するために、5年間の戦略期間で、2040年までには2万人に達するためにどのようにしたら良いかを、有識者の

方や団体や町民の方から色々意見をいただき纏めたものを、10月末に出ているので一読してほしい。今言われた森林資源、当別町は60%の森林があるので、総合戦略の中にも、森林資源を活用したまちづくりも書かれているので、そちらの方も見て欲しい。看板の件については、交差点の角にある宮本商店の大きな看板だと思うが、防災の観点からも出来るものから、早めにやるように部局の方に申し出していきたいと思う。そこだけではなく、色んな看板の点検や目視についても要望していきたいと思う。

○（議会） JR沿いや国道337号沿いに見せる形というのは非常に重要な発想だと思う。当別では国道275号沿いの金沢地区の田園住宅がその役割を果たしていると思う。行政で取り組んでいるものの直接の目的が町のPRになる物でなくてもそれをしっかり見せる事によって町のPRになるものが色々あると思う。一つの仕事を複数の役割を果たせるように使うというのは、重要な視点であり、追加でお金が掛るものではなく、工夫の問題であるので、積極的に行っていく必要があると思う。

○（町民） 空き家対策の事であるが、栄町では問題の家屋があり、空き家と言うよりも、粗大ゴミの不法投棄みたいな状態の家屋があり、折角条例が出来ても代執行では解決しない問題がある。その方法ではなくて、持ち主の居なくなった土地の地主さんに空き家を解体してもらった時に助成金というか補助金を出すとかの考えを持った方が解決策としては一番近いのではないだろうか。

○（議会） そうですねとは言えないので、たしかにその方法もあるとは思いますが、逐次これからも町内会長さんの所に行き、町で3月に条例制定したものは、空き家の適正管理に対する条例であって、強制代執行するとの事ではなくて、色々追跡調査をして所有者を確認して、これから勧告してとの手順を踏んで、最後には強制代執行も出来るとの事であって、仮に強制代執行したとしても所有者に請求できるか払ってくれるかどうかは分からないので、色んな助成制度はこれから、空き家特措法もやりながら、専門の方と協議しながら検討していく形になると思う。たしかに廃屋を放置している事は防災や家事になる可能性もあるので、部局の方と町内会長さんとで逐次連絡を取りながら状況を把握していく事が必要と思う。

○（議会） 今の話は良く理解できる。今、新聞でも色々こういう空き家に対するそれぞれの自治体で色んな補助の出し方とか、色んなやり方をしている自治体もあるので、当別町でも少しずつ取り入れていく形になると思う。ペレットストーブとか色んな形での住宅を建てて、人を呼び込む事についての話についても、議会としても下川町などの先進地研修を重ねており、当別町の民間アパートの関係者もペレットストーブを使ったアパートを建てたりしている。先程、補正予算で説明した総合体育館の中に、国の補助金100%いただいて、ペレットストーブを設置する工事を行っている。残念ながら、ペレットは町内の森林資源からでは無いが、出来れば議会としても町内の資源を活用したストーブにしてほしいとは言っており、そういう事も含めて当別町の資源を活用した再生エネルギーを使ったまちづくりをしていきたいと思っており、議会としても取り組んでいるところである。

○(町民) 今回の3グループに分かれて議会報告会を行う事は大変良い事だと思う。10年も20年も前は、20数名の議員さんや町の三役さんが並んで説明をするのは重苦しかった。今、議員さんが減って15名の少数精鋭になった中で、どうか健康管理をしてもらって、空き家の問題やマイナンバーなど以前になかったような問題が出てきているので、健康に留意して元気に活躍していただきたい。

○(町民) 先立つものはお金だと思うが、例えば補助金付きで行うものと、一般財源で行うもので優先順位があるのだろうか。例えば建築とか商工とか観光とか、農業とかに使うとか色々あると思うが、一例として道路であるが、簡易舗装道路では穴の空いた箇所をちょっと埋める位で、もっと酷くなると砂利を持ってきて埋めると、返って穴が大きくなる状態もある。沢山の町道がある中で、どういう補修をしていくのかが見えないので、例えば優先順位を付けて、何年間でどこの町内会のこの箇所は補修をしていきますので、それまではこの程度です所以我慢してくださいという事が分からないと中々難しいと思う。そういう箇所付けとそういうものを議会だよりとか、そういうもので、住んでいる地域の人分かるような表現をしてほしいと思う。今回6回目の報告会であるが、町民からの要望が実際に議会でどういう形で取り上げられてどうなったのかの結果が分かるような形の議会のあり方等の報告の仕方をしていただく方が非常に分かり良いと思う。

○(議会) 今後は、議会だよりについても、そういう依頼があった事に対して、どのような結果として出来たかと言う事を、しっかり分かるように記事にしていきたいと思う。いい話を伺ったので、参考にしていきたいと思う。

○(議会) 今回の3班に分かれた議会報告会の後には、3班で集まって報告書を提出するが、それに付けて議会だよりも掲載していくように広報委員長からも言ってくれたので、なるべくそのような形で進めていきたいと思う。道路補修の状況の優先順位については、ちょっと分からないが、箇所の件ですとかは部局に言って、優先順位を付けて行っているのかは確認していきたい。ただ色々と財政の絡みもあり、第2次財政計画の中では、平成30年までに町の債務を約190億位あったものを、少づつ減らして110億までにするですとか、基金を積んでいくですとか、財政比率を良くしていこうとしており、そちらを優先的に行うとしているので、財政状況と勘案しながら行っていくとの事であるので、これからも議会としても町内会からの要望があった事は言っていきたいと思う。

○(町民) 空き家だけではなく、空き地についても同様に問題として検討してほしい。住宅の空き地の管理についても、おそらく所有者が分からない所があると思う。それと我々が勉強しているのは、公園の管理であり、遊具がないところは全て空き地になって、空き地の管理については町内会が受けている所である。町内会の役員等も一年に一歳ずつ年を取り、5年後に75歳も80歳の方に管理すれと言うのも酷くなってくるので、空き地の問題も考えてもらいたい。

○(議会) 児童公園については、町内会で管理してもらいたいと言う町側の意向であり、以前は行政側が全て責任を持って行っていた時代もあったが、たしかに遊具も

老朽化して危険であるので撤去するとか、柵も雪によって斜めになって撤去しているという、遊具も柵もない元公園のような形になっている。そこの町内会に管理をお願いしているのであれば、そこの使い道については、町内会から行政側に使わせてほしいとのお願いをしても良いと思う。例えば、その使い方としては、皆が使うように冬は雪捨て場に使わせてほしいと、町に変わって管理する代わりに地域の人に使わせてほしいと言っても良いと思う。民間の空き地については、ちょっとそのような事にはならないが、町の空き地については、地元から行政に活用方法を提言して貰えば、議会としても議論出来ると思う。

○（町民） 出来るかどうか分からないが、例えば遊具もない所に、土地改良として土を入れ替えて、地先の人達や老人クラブのリース農園としてはどうだろうか。そうすると年寄りも張り合いが出来るのではないだろうか。美里には二つの公園があり、今のままでは作物が出来ないので、要望としてリース農園を作っていただけないか。

○（議会） 公園については、管理の問題や遊具の老朽化の問題があるが、おそらく何に使えるのかとなっている場所が多くなっていると思う。子育て世代の観点から重視して考えれば、公園の遊具はしっかり改良していく必要もあると思う。農園リースについては、今まで考えた事は無かったが、折角ある土地で今まで町内会で守ってきた土地であるので、それをどうしたらより効果的に現実的に使っていく事が出来るのかは、これからは検討していきたいと思う。

○（議会） 少子高齢化の典型的な問題であると思うので、公園の活用としての一つの提案として捉えさせていただきたい。

○（議会） 過去の住宅の開発行為の時に、一定程度の公園を作らなければいけないとの経緯であったと思うが、現在は空き地になっている状況であり、今は国の方も色々な規制も緩和になっていると思う。いずれにしても、今日の意見交換会のように、我々は理事者側ではないので、皆さんと同じ住民の立場で言わせていただいているので、そのように聞いてほしい。

○（町民） 町では、例えば空き家の条例や、グリーンベルト構想や町の何年ビジョンとかがあると思うが、こういう重複した何年計画、何年計画と言うのは、我々からは見れば、どれとどれがリンクして、どういう関係なのか、まず分からないところが非常に多い。例えば、広報なり、議会だよりに求めるのは難しいと思うが、広報あたりで、もうちょっとその辺のところを、こういう構想とこういう計画があって、こういう計画に対してリンクしている所はこういう事ですとかを、もし出来るのであれば広報で特集を組んで知らしめてほしい。HPの事であるが、将来的で良いのだが殆どの方がパソコンを持っているかと言うとそうでもなく、30%の高齢者の方が居る中で中々HPを見たくても見れない人が居ると思う。例えば、体育館に行くとか、ゆとろのお風呂に行くとか、太美に行くとか、そういう所に管理を難しいとは思いますが、HPを見れるように、パソコンを据え付けるような検討をしてほしい。

○（議会） パソコンの件については、要望・意見として部局に伝えていきたいと思う。町の計画の一番の上位計画は、平成21年から平成30年までの第5次総合計画

が一番の上位計画があつて、それに基づいて、いま総合戦略、都市計画等の計画を持っているところである。それを広報で検討するように伝える事としたいと思う。

○（町民） 当別の明日を担う子ども達の未来について、今日、教育長さんが居れば聞きたかったのだが、子供達の夢や意見をどんどん出させるように、議会から夢のある、夢を吸い上げるような町づくりに力を貸していただくようお願いしたい。

○（議会） 今日は議会の報告会で行政側は来ていないので、町政報告会などでは、どんどん意見を言ってもらえればと思うし、議会に対する要望として受け止めたいと思う。

○（議会） 子ども達の夢に向かつての取り組みの一貫として、小中一貫教育の準備を進めている。小中一貫教育の問題では、どうしても建物をどうすんだとか、学校の改修をどうするんだとかの問題がある。先の教育委員会で主催された講演の中での話であるが、小中一貫教育で一番大事な教育は、この町で育った子ども達が15歳の時に、もしくは18歳の時にどういう子どもに育っているのかであり、子どもの未来像と言うか、成長した子どもの姿というのを、地域の方々、そして学校の先生方の全員が共通のゴールのイメージを持って、その為に小学の時、中学の時には何をしなければいけないかを一斉に取り組むのが最大のポイントになると思う。小中一貫については教育委員会において、2年間位掛けて検討を進めているので、大変期待をしているところであるが、そこに加えて当別ではどんな子どもを育てていくのかを、しっかり我々もそうですが、町民の方とも一緒に考えていく必要があると思っている。

○（町民） 生活道路の除排雪であるが、平成20年から8年が過ぎて、町内会の内、26町内会が排雪費の負担をしている。これについては、当別町がやらなければならない事業であるとの思いがある。それと街路灯も町内会が負担しており去年から10%補助率が上がったが、通常はやはり街路灯なので町が管理するのが当然だとの思いである。町内会の経費の負担行為というのは、地域住民に対して頭からドンと来るので、既に高齢化が進み、18戸の教員住宅の内、半分も入っていない状況であるが、経費の負担は空き家の分も負担する事になっている。元町のダムの建設事務所のすばらしい住宅が完全に利用されず、そのままになっており、道の方になると思うが利用方法も考えていただくようにすれば、かなりの戸数があると思うので、皆さんからの色んな意見を聞いて、優先順位としてどこから手を付けてどうなるのかを町民に聞かせてほしい。

○（議会） 雪対策の事については、たしかに26町内会による雪対策協議会が出来て8年位になり、生活道路の排雪負担を町と半分づつの負担として、1回の排雪は1千2百万円掛るので、その半分の6百万円を26町内会で負担して貰えないかとの事で始まった事業であり、議会としても町道については、私道を含めて除排雪については、そこで生活する人がいる限り、町が責任を持って除排雪するのが基本的な考え方であると思う。当時、非常に財政的に厳しい状況であつて、それぞれの議員の中でも色んな意見があるので、今後こういう事については、議会の中でも十分議論されていくと思うが、今年度については従前通りの方式で行われると聞いているが、今後につ

いては、町長の考え次第によって変える内容であるので、議会としても皆さんがどういう方法が一番ベストなのかを色々と聞いて行きたいと思っている。宮司町長になって最近言われたのは、3回目以降については、全額町費負担で責任を持って排雪すると言われているが、最初から1回目も2回目も、そういう色んな町民の要望もあるので、そういう意見も今後こういう機会を通じて聞かせていただきたい。また、街路灯の電気代や電気器具の補助の率については、当初よりも地元の負担が多くなったと承知しているので、これについても町の財政状況を見ながらになるが、住民の要望を聞くことが議会の使命であるので、今後とも聞かせていただきたい。それとダムの使っていない住宅についても、色々それぞれの議員の中でも、是非活用すべきと動いている議員もおりますが、中々道としても、首を立てに振ってくれないのが実情であるが、これについても引き続き、当別町を通じて要請できる所は要請していく事としたいと思っている。

○（町民） 今、町内会に全ての行政の役割が降りてきており、非常にこのままでは町内会が潰れてしまうと、そういう危惧を実はしている。当然、高齢化もそうですし、国から来て、道に来て、町に来て、それがストレートに町内会に来てと色んな問題が町内会に降りてきている。その辺も町が行うもの、町内会に依頼するものかを、もう少し行政の方で交通整理して降ろしてもらえないかと考えている。一つの例として防犯の事であるが、10月に北署から防犯協会から入った情報の対応として、その時の教育委員会の対応や、どこまで町内会として責任を持って対応出来るのかが非常に難しい問題として現実にあるので、町がやる事と町内会にやってほしい事を交通整理してやっていただきたいと思っている。

○（議会） 要望との事であるが、人口の減少に伴って、地域が疲弊してくると各町内会の役員さんの成り手がないとか、役員さんの高齢化になるとの状況だと思うし、例えば町内会と町の役割分担が出来ればとの要望があった事は議会に上げていきたいと思う。

○（町民） 要望であるが、4年前のスウェーデンの海外研修に町として1千百50万円を使っており、前にも言った事だが、貧乏な世帯は中学高校の修学旅行にも行けない、そういう現状もあるのに、何故海外研修が必要なのか理解できない。財政的に厳しいと言っている中で、そんな旅行に行っている事には腹立たしいと思っている。

○（議会） 要望との事だが、一つ言っておきたいのは4年前は視察旅行ではなくて、あれはレクサンド市との姉妹都市交流25周年の交流事業の一貫として行っているもので、そう言った旅行ではない。当然それぞれ議員も行っているが、自己負担分もあって、町の補助もあるが、それは町内の人が何十人も行ったのだが、自己負担分も伴って行っており、旅行ではなく交流事業の一環として理解していただきたい。

○（町民） 理解しない。1千百50万円町費を使っている事は理解しない。きちっと答えてほしい。

○（議会） 何を答えるのか。

○（町民） これから先にそういう計画があるのか。

○（議会） 交流事業については、再来年に30周年、レクサンド市との当別町の姉妹都市提携してから30周年を向かえるので、今、予算計上はしていないが、これからどのような形で、逆に今度はレクサンド市から交流事業として訪問団を受け入れる事になる。

○（町民） それについても、お金が掛るのではないか。

○（議会） まだ、今の段階ではどのような形で受け入れるのか決まっていないので、この場で答える事は出来ない。

○（町民） 要望であるが、町道の管理の事であるが、治水橋の前後であるが、町道競馬場線の道路側面の草刈を3町内会に跨って依頼されているが、これはちょっと場所的に危険な場所であって、万が一車に跳ねられた、機械で怪我した時に、補償と言うか責任がどこにあるのか、そういう事もあって、その辺の事を議員さんから建設課へ話していただきたいと思う。何年も行っているが、高齢化で草刈る人も少なくなっており、出来れば解消してほしいと思っている。

○（議会） 要望との事でよろしいですか。要するに治水橋の前後が非常に危険なので、それについては町内会では無くて、町で行ってほしいとの要望として、その事は行政側に伝えていく事としたい。

◎山田議員挨拶

○それでは閉会に当たって一言ご挨拶申し上げます。今日は約20名近くの町内会の皆様に集まってお聞きいただきまして、町政に対する要望ですとか、地域の課題について色々出してお聞きいただき、ありがとうございました。色々マイナンバーですとか空き家空き地の問題という事については、町の抱えている問題と一緒にだと思っています。マイナンバーについては、もっともっと説明会、勉強会を開くという事も要望していきたいと思っています。地方分権の時代に入りまして、自分達の町は、自分達が考えて、自分達で作るといような時代になってきております。これからもこういう議会報告会を何回か行いながら、議会としては、ただ行政が出してきた政策について議決するだけではなくて、議会としても皆さん方の要望を政策提言として、これから皆さん方の意見を町の方へぶつけていきたいという風に思っている。これからもこういった議会報告会を通して皆様方からの要望を受けて行きたいという風に思っているの、よろしくお願ひします。今日は、本当にありがとうございました。